

河川大会に参加

第53回東京河川改修促進連盟の総会及び促進大会が、8月6日、調布市グリーンホールで開催されました。

この大会は、安全で水害のない水と緑豊かな潤いあふれる生活環境を創るために、河川改修の早期完遂と内水対策の早期実現を図ることを目的としています。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、関係職員などが参加しました。

総会では、平成26年度事業報告や平成27年度事業計画の議決などを行いました。促進大会では、国会・政府・東京都に対して、東京全域の河川改修の早期実施など、治水対策促進を求める宣言や、総合的な治水事業の強力な推進と財源の確保及び増額などを求める決議を行いました。



西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の決起大会

8月25日に、野方区民ホールで、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会が行われました。

北原ともあき議長が出席し、区議会代表として挨拶を行いました。



職員2000人体制
児童館が大幅に廃止されていく中、児童館が担ってきた異世代交流、子育てネットワークをどう構築するのか。
答 新しく子育て支援のための拠点を配置する。
問 行政、事業者、地域を結ぶ福祉系職員が激減している。育成と増員が必要ではないか。

中野区スポーツ・コミュニティイプラザ
問 中部、南部には巨額の税金が投じられた。これ以上箱物に血税を投入せず、まずは必要性を区民に問うべきでは。
答 生活圏域に健康づくりに取り組める環境が必要である。

子育て支援情報の発信
問 子育て支援ハンドブック「おひるね」の改訂にあたり、区内で子育てをする当事者たちに、一部でもいいので編集を任せてみてはどうか。
答 ボランティア団体の参画は想定していない。
問 中野区子ども・子育て支援事業計画には、商店街等の

身近な場所でも子育てひろば事業を実施するとあるが、進捗状況は。
答 支援拠点の適切な配置や運営方法を検討中である。
問 子育て支援団体の情報の収集・共有により連携を図り、子育て支援ネットワークを強化するとあるが、進捗状況は。
答 子育てひろばの活動状況を調査中である。

障がい者のスポーツ参加
問 スポーツ推進委員が障がい者対応の資格やスキルを持つ必要があるのでは。
答 障がい者対応のスキルアップに向けて、積極的に推奨していきたい。
問 当事者の声を聞き取り、障がい者のスポーツ参加の活性化を図っていくべきでは。
答 子育てひろばの活動状況を調査中である。

食用油の回収
問 リサイクルされたせっけんを回収拠点に展示しては。
答 成果のPRについては、今後検討していきたい。



無所属
むつう 有子



無所属
小宮山 たかし



無所属
細野 かよこ

飼い主のいない猫対策助成
問 助成対象を町会などに限定せず自主団体に拡大しては。
答 ボランティア団体は、町会と協働していただきたい。
問 不妊・去勢手術助成対象である獣医師会協力病院の実績は6匹、それ以外は69匹だった。助成対象を獣医師会以外の病院にも拡大しては。

高齢者お泊りデイサービス
問 デイサービス事業所が行う介護保険以外の宿泊事業は、劣悪な設備や職員数など基準を順守しない所もある。高齢者虐待防止の点からも利用人数や実態を把握し改善しては。
答 実態を把握し、サービスの適正化に努めたい。

医療的ケアが必要な子の支援
問 子ども発達センター「たんぽぽ」の放課後デイサービスは医療的ケアが必要な児童も学童保育同様に利用可能か。
答 利用は可能である。
問 集団保育の次善策で医療的ケアが必要な乳幼児の居宅訪問保育事業を展開しては。
答 居宅訪問型保育事業の開

始に向け準備を進めている。
東日本大震災の被災者支援
問 都や国の支援が縮小していく中、中野に避難中の被災者で、住宅の賃借や住宅扶助就労支援等を必要とする人が出てくる。継続支援は可能か。
答 必要なサービスの提供、きめ細やかな相談等の支援のため、体制を整えていきたい。

地域少子化対策強化交付金
問 国の交付金で特別区では2500万円の補助が受けられるが、この補助金を活用した少子化対策を行っているか。
答 現在、活用はしていない。
問 交付金を活用し、婚活支援を行うべきでは。
答 交付金活用の必要性については検討したい。

区内施設の回線インフラ整備
問 100メガの専用線を引いている拠点数は。
答 約100拠点である。
問 専用線では高額の月額費用が発生するが、公衆回線で接続すれば、現在の4分の1のコストで運用が可能では。
答 来年度の見直し時に、公衆回線の活用も検討したい。



無所属
むつう 有子



無所属
石坂 わたる



無所属
渡辺 たけし

青森市・中野区交流事業「特別展 棟方志功・なかの」が、10月22日から28日、中野セントラルパークサウス内のコングレスクエア中野で開催されました。昨年4月の青森市と中野区の交流連携協定締結にちなみ、青森市生まれ、中野区で版画家の地位を確立した棟方志功の代表作「大和しよし」「二菩薩釈迦十大弟子」をはじめとした諸作品が展示されました。



「特別展 棟方志功・なかの」が開催